

各地で話題の病害虫

オオタバコガ

学名: *Helicoverpa armigera* (Hübner)
英名: corn earworm

近年、西日本の各地でタバコガと極めて類似しているオオタバコガによるナス科植物等の被害が増加している。原因は、少雨と乾燥による卵と幼虫期の死亡率、寄生菌の減少による死亡率のそれぞれの低下によると考えられている。

幼虫は果実、蕾、腋芽などを好んで食べるが、葉や花なども食害する。蕾が食害されると商品価値が損なわれ、また、キャベツでは結球部が加害



島根県農業試験場 奈良井 祐隆氏提供

されることが多く、寄生密度が低くても被害が大きくなる。

タバコガが主にナス科植物を加害するのに対してオオタバコガはナス科植物の他、キャベツ、トウモロコシ、インゲンマメなど多くの植物を加害する。本虫の防除方法は薬剤散布が有効であるが、海外では薬剤に対する抵抗性を発達させているという報告もある。

訂正 No48号「各地で話題の病害虫」中、写真提供者所属の各県「病害虫防疫所」を「病害虫防除所」に訂正し、お詫びします。

トマト茎えそ細菌病

学名: *Pseudomonas corrugata* Roberts and Scarlett

平成7年福岡県の冬春トマトで、収穫期に茎にえそを起こして萎ちよう枯死する細菌性病害が発生した。そのため福岡県農業総合試験場が同定したところ *Pseudomonas corrugata* による茎えそ細菌病であることが判明した。本病の福岡県での発生は初めてである。

病徴は、茎及び葉柄内の維管束部に沿ってえ死を生じ、ずい部が褐変する。やがて茎頂部及び上



福岡県病害虫防除所 提供

位葉から軽度の黄化、萎ちようを生じ、激しくなると株全体が枯死する。湿度が高い場合には茎の表面にもえそ斑点が見られるが、葉身部や果実表面での病斑形成はない。

本病の第一次伝染源は知られていない。しかし、生育初期の芽かき作業によって伝染し、被害が大きくなると考えられる。また多湿条件下で多発しやすい。

防除対策としては芽かき作業時に使用する器具を消毒することが重要である。